

それゆけ! ほむらくんの 実践防火講座!

第2回 消防訓練 (初期消火)

文: よしむら りょうた 絵: おぎの じゅんこ

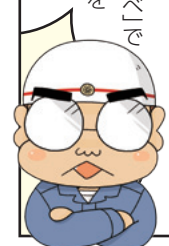
今回は、火災に備えて行う消防訓練のうち、消火器や屋内消火栓設備を使用した「初期消火」について説明します。



今回は初期消火についての説明ですね!



火災が発生した時、消防隊が到着するまで何もしなければ火災は広がる一方だが、適切な初期消火をおこなえば被害を最小限で食い止めることができる。
今回は、JR神戸駅の地下にある「デュオこうべ」でおこなわれた消防訓練を参考に説明しよう。



他にも消火する設備はありますか?

「屋内消火栓設備」がより有効な消火手段だ。

①起動ボタンを押す

②ホースを出す

③バルブを開放

使用方は①消火ポンプの起動ボタンを押す、②ボックスからホースを取り出す、③バルブを開放する、ことにより放水することができます。



初期消火のポイントとして、炎ではなく燃えている物を消火すること、天井まで炎があがる前に消火することが重要だ。天井まで炎があがると炎が背後に回り避難が困難となる。それまでに無理せず避難してほしい。

また火災発生時は煙で前が見えないことも多いため、退路を確認しておくことも必要だ。

大規模な建物や福祉施設等には、「スプリンクラー設備」等、自動で消火してくれる設備が設置されていることもある。

自分が勤めている建物には、初期消火のためにどんな設備が設置されているか、訓練の時に調べてほしい。

次回からは外国人来訪者等にも対応した「避難」です。

ほむらくんのチェックポイント!

【関係法令】

- ・消防法第25条 (応急消火義務等)
- ・消防法施行令
- ・第10条 消火器
- ・第11条 屋内消火栓設備 他

【設備の種類】

- ・消火器
- ・屋内消火栓設備 (2人で使用)
 - 一号消火栓 (1人で使用可能)
 - 二号消火栓
 - 易操作性一号消火栓
 - 広範囲型二号消火栓
 - 補助散水栓 (スプリンクラー設備)

【その他の初期消火の設備】

- ・水噴霧消火設備・泡消火設備
- ・ガス系消火設備 (不活性ガス (ハロゲン化物) 粉末消火設備・屋外消火栓設備)

【注意事項】

※屋内消火栓設備等を訓練で使用した場合は訓練終了後にポンプ室でポンプを停止する必要があります。

初期消火にはどんな方法があるんですか?

初期消火に使用する設備はいくつかありますが、まずは「消火器」だ。

使用方は①消火器上部にある黄色のピンを引き抜く、②ホースを火元に向ける、③レバーを握るといった簡単な動作で消火薬剤が放出されるぞ。

①ピンを抜く

②ホースを火元に向ける

③レバーを握る